

親を学び伝える学習プログラムについて

各段階ごとに、また、エピソードごとに
使用方法を解説します。

プログラムメニュー

1 親となるための準備期プログラム（ワクワクを楽しもう！） 活用手引き p42～

- ある日の親子の会話から（親の役割ってなんだろう？）
- 静香さん（中学3年生）の日記から（親ってたいへんだ！）
- 良んと萌さんの会話から（家事・育児は女性の仕事？）
- 迷う恵梨花さん（子育てはガマンと忍耐？）
- 働かなければ大人じゃない？（働くことを考えてみよう！）

2 乳幼児をもつ親のプログラム（ドキドキを楽しもう！） 活用手引き p50～

- 赤ちゃんの行動や言葉をまねてみましょう！（赤ちゃんとは体験を共有しましょう！）
- 赤ちゃんの感情の調子に波長を合わせてみましょう！
- 忙しいお母さん、話をきいてほしい太郎君（子どもと向き合おう！）
- ついイライラしてしまうお母さん（イライラに対処する）
- 保育園から絵本を借りてきたよ！（子どもの気持ちを受け止めよう！）

3 学童期の子どもをもつ親のプログラム（イキイキを楽しむ！） 活用手引き p52～

- 健太郎君とお父さん（自立の後押し！？、親の出番は！？）
- 参観日の母親の姿（規範意識が低いのは、おとな？子ども？）
- 子ども同士のけんかに親がかかわり（かかわり方を考えよう！）
- 運動会は誰の競争？（もう6年生なんだから・・・！）
- 地域とのかかわり（親も子どもも地域で育つ）

4 思春期の子どもをもつ親のプログラム（ハラハラを楽しむ！） 活用手引き p56～

- 由香のお手伝い（いつまでも子どもとって思っていたら！）
- 健一の友達とのトラブル（子どもの問題に向き合おう！）
- 智也の通学（いつまでも手をかけていませんか！）
- 夕飯時の携帯電話（ゆらぐ自我に向き合おう！）
- 地域デビュー（社会に踏み出す！）

4 「思春期の子どもをもつ親のプログラム」 活用手引き

1 プログラムの趣旨

思春期は、自我に目覚め、それまでの親への依存状態から抜け出し自立に向かう時期です。そのため、今まで親にしてもらっていたことも、自分で考え、自分でしようとしています。ところが、その行動は未熟であるため、親は見ていられず、小さい時と同じように世話を焼こうとします。また、親は、子どもの精神的変化に気づかず、いつまでも親の思い通りに子どもを導こうとします。しかし、この時期には、子どもの自立に向かう行動や精神のシグナルに気づき、子どもの自立を認めてあげることが大切です。親にとっても、自分中心の思いを押し付けたり、過保護にすることの弊害に気づき、養育態度の変容をせまられる時期でもあります。

しかし一方では、自我の自立に伴う激しい行動的・精神的変化によって、様々な問題が噴出してくるのも思春期の特徴です。問題が生じて、まだ子どもだけでは適切な対処ができません。反抗期だからと言って、放任したり見放したりせずに、親が子どもの問題と一緒に向き合うことが大切です。

そのような観点から、エピソード①では、親に依存するばかりでなく、家族の一員として手伝いをしようと思いはじめた由香に対して、それに気づかない両親のエピソードを取り上げ、思春期において親が子どもの自立に気づくことの大切さとその際の親の対応を考えます。エピソード②では、友達とのトラブルに遭遇した健一に対して、家族がそれぞれの立場から助言するエピソードを取り上げ、親が子どもの問題と一緒に向き合うことの大切さを考えます。エピソード③では、学校に車で送ってもらって当然と思っている智也と送ってあげて当然と思っている母親のエピソードを取り上げ、日常生活の中に埋没している過保護的なかわりに気づき、子どもの自立を育てるための親のかかわり方を考えます。エピソード④では、最近どこの家庭でもトラブルの原因となっている携帯電話を取り上げ、携帯電話の扱いを通して家庭におけるルール作りの重要さを考えていきます。エピソード⑤では、友達に地域活動を誘われた武のエピソードを取り上げ、子どもが成長するに伴い、活動範囲を社会に向けて広げていくことの大切さを親が認識していきます。

なお、このプログラムは、基本的には、中学生や高校生など思春期の子どもを持つ親に使ってもらうことを目的に作成しました。しかし、自立や依存は、世代を超えたテーマですので、世代や子どもの年齢にかかわらず必要に応じて工夫してお使い下さい。

2 プログラムの流れ

プログラム使用にあたっては、時間配分、活動、留意点が書かれた以下の表を参考にしてください。何れのプログラムでも、基本的には、グループ作り、エピソードの読み上げ、個別及びグループのワーク、全体発表の順に展開されます。4-表1に、留意点が詳しく書かれていますので、他のプログラムでもこれを参考に進めてください。なお、各表に書かれた時間は、おおよその目安と考えてください。実施時間が限られている時には、その状況に合わせて時間配分してください。また、参加人数や場所によって、プログラムの流れ通りに出来ない場合があります。その時には状況に合わせて工夫して下さい。

4の表1 プログラム使用の流れ (①エピソード 由香のお手伝い)

| 時間 | 活動 | 留意点 |
|------|--|--|
| 約5分 | 1 4~5人のグループに分かれ、このエピソードを役割分担して読み上げましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ファシリテーターがグループワークの内容と進め方を説明します。また、発表者（最後に発表することを最初に伝えておく）をグループごとに決めるようにっておきます。 ○グループは、仲の良い人ばかりで集まるのではなく、色々な人で構成されるように配慮します。 ○エピソードを読み上げる時は、由香、母親、父親の立場になりきって演じてみます。時間がゆるせば、役割を交代して何度か読みます。 |
| 約5分 | 2 エピソードについて考えてみましょう。 1) それぞれの立場について、あなたはどのように思いますか？下の欄に書きましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○まず、エピソードにおける由香、母親、父親の立場の気持ちを考えます。 ○次に、それぞれの立場について自分の感想や意見を考えます。 ○幾つか考えた人は、考えたものを全て書いてもらいます。 |
| 約15分 | 2) それぞれの立場について思ったことをグループで話し合しましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○欄に書いたものを各自発表します。また、「この立場の人は、もっとこのようにしたほうが良い」という自分の意見がでるように促していきます。 ○グループで話し合う際、特定の人ばかり話すのではなく、全員が発言できるようにファシリテーターの人は留意します。 ○これらのワークを通して、親睦を深め、意見を出しやすい雰囲気を作られるように留意します。 |
| 約5分 | 3 あなたの家庭では、子どもの自立に対してどのように対応していますか。 1) 子どもの自立について嬉しかったことや困ったことなどがありますか。また、その時どのように対応しましたか。プログラムの下の欄に書きましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○我が家の状態を思い出してもらいます。また、それを書くことによって、子どもの状態や自分の対応が言語化され、それらを見直し整理する作業が可能になります。なるべく沢山思い出して書くように説明します。 |
| 約15分 | 2) 各家庭の様子をもとに、子どもの自立に向けて親はどのようにすればよいかについてグループで話し合しましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○書いたものを各自発表し合います。絶対に発表したくない発表者には強制しません。しかし、子育ての問題は、子どもを持つ親同士で話し合うとどここの家庭でも共通していることが分かります。自分の家庭だけで抱え込むのではなく、話し合いの場でオープンにすることに |

| | | |
|------|--------------------------------|---|
| | | より問題解決に導かれることがあるので、ファシリテーターは、参加者が発表しやすい雰囲気を作り、また問題を皆で共感できるようにしていきます。 ○各家庭の事例に終わらず、子どもの自立に向けて親がどのようにすればよいかの意見ができるようにします。 |
| 約20分 | 3) 最後に、話し合ったことをグループごとに発表しましょう。 | ○最後に、全員で集まり、グループごとに話し合ったことをまとめて発表します。最後に、発表しなければならぬと、話し合いも真剣にされることでしょう。 ○自分達のグループとは違う内容を聞くと、さらに自分の考えの幅が広がりますので、他のグループの発表をしっかりと聞くように促します。 |

4の表2 プログラム使用の流れ (②エピソード 健一の友達とのトラブル)

| 時間 | 活動 | 留意点 |
|------|---|--|
| 約5分 | 4～5人のグループに分かれ、エピソードを読み上げましょう | ○4～5名のグループに分かれます ○グループごとに、皆でエピソードを読み上げてから始めます。 |
| 約15分 | 1 エピソードについて考えて、下の欄に書きましょう。 1) 健一、伸也、母親、父親、兄の立場になって、それぞれの気持ちを考えてみましょう。 2) あなただったら、健一にどのように言うでしょうか。 | ○役割分担してエピソードを読みます。それぞれの立場になりきって読み、気持ちを考えます。 ○エピソードの仮想事例によって、自分の身になって考える体験をします。 |
| 約15分 | 2 子どもが困っている問題に対して、親のとるべき対応と役割についてどのように考えますか。 | ○思春期を迎えた子どもは日々様々な問題を抱えています。それに対して家族がどのように向かい合っているかを考えます。 ○自分の家庭での子どもへの対応を振り返りながら、親の対応と役割を考えていきます。 |
| 約20分 | (最後に、話し合ったことをグループごとに発表しましょう) | ○最後に全体で集まり、グループで話し合った内容を発表します。 |

4の表3 プログラム使用の流れ (③エピソード 智也の通学)

| 時間 | 活動 | 留意点 |
|------|--|---|
| 約5分 | 1 4～5人のグループに分かれ、このエピソードを役割分担して読み上げましょう。 | ○4～5名のグループに分かれます ○グループごとに、皆でエピソードを読み上げてから始めます。 |
| 約5分 | 2 エピソードについて考えてみましょう。 1) この会話から登場人物になったつもりでその気持ちを書きましょう。 | ○智也、母親、父親、祖父の立場になったつもりで、それぞれの気持ちを考えます。幾つか考えられる人は、考えたものを全て書いてもらいます。 |
| 約15分 | 2) 登場人物の気持ちについてグループで話し合しましょう。 | ○書いたものを各自発表します。 ○また、「この立場の人は、もっとこのようにしたほうが良い」「私だったら（我が家だったら）このようにする」という意見を出し合います。 |
| 約15分 | 3 あなたの家庭で子どもに過保護な接し方をしていると思われることがありますか。グループで話し合しましょう。 | ○エピソードを参考に、家庭で行っている過保護の接し方を発表します。 ○また、「すでに過保護と思っていたがそのまま続けている」「今までは過保護とは思っていなかったが今回改めて過保護と気がついた」「すでに過保護だと思ってやめたこと」など、家庭での過保護の状態について話し合います。 ○話し合いを通して、今までの我が家の子どもへ過保護な接し方を見直します。 |
| 約20分 | 4 最後に、話し合ったことをグループごとに発表しましょう。 | ○最後に全体で集まり、グループで話し合った内容を発表します。 |

4の表4 プログラム使用の流れ (④エピソード 夕食時の携帯電話)

| 時間 | 活動 | 留意点 |
|------|--|--|
| 約5分 | 4～5人のグループに分かれ、エピソードを読み上げましょう | ○4～5名のグループに分かれます ○グループごとに、皆でエピソードを読み上げてから始めます。 |
| 約15分 | 1 エピソードの夕食のような時、あなただったら、子どもにどのように言いますか（どのようにしますか）。グループで話し合しましょう。 | ○エピソードの出来事が我が家で起きた場合、子どもにどのように言うか（するか）を各自が考えて、発表します。 ○また、発表内容の感想や意見を述べ合います。 |
| 約15分 | 2 あなたの家庭では、ルールや約束事がありますか。子どもがそれを守らなかった時にはどうしますか。グループで話し合しましょう。 | ○家庭におけるルールや約束事をどのように子どもと決めていくのか、またそれを守らなかった時には親としてどのように対応するかについて考えます。 |
| 約20分 | (最後に、話し合ったことをグループごとに発表しましょう) | ○最後に全体で集まり、グループで話し合った内容を発表します。 |

4-表5 プログラム使用の流れ (⑤エピソード 地域デビュー)

| 時間 | 活動 | 留意点 |
|------|--|---|
| 約5分 | 4～5人のグループに分かれ、エピソードを読み上げましょう | ○4～5名のグループに分かれます ○グループごとに、皆でエピソードを読み上げてから始めます。 |
| 約15分 | 1 エピソードの話し合いの続きを考えてみましょう。あなたの家庭では、どのような話し合いになるでしょうか。 | ○エピソードの最後に「この後、お父さんとお母さんは、武と話し合いをしました。」と書かれています。この話し合いが、我が家ではどのようになるか考えて、発表します。 ○また、発表内容の感想や意見を述べ合います。 |
| 約15分 | 2 あなたの家庭では、子どもの地域活動についてどのように考えていますか。グループで話し合しましょう。 | ○我が家では、子どもの地域活動をどのように捉えているのかについて考えて、発表します。 ○また、親は子どもの地域活動に対してどのような対応や援助が望ましいのかを話し合います。 |
| 約20分 | 最後に、話し合ったことをグループごとに発表しましょう | ○最後に全体で集まり、グループで話し合った内容を発表します。 |

